

ワクチンに関する死亡報告一覧

第112回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和8年度第4回薬事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会	資料2-38
2026（令和8）年7月24日	

2026年7月3日現在

期間	No.	ワクチン名	ロット番号	年齢	性別	基礎疾患等	接種日	死亡日	死因または転帰死亡PT	報告医評価	因果関係評価	専門家の意見	死亡症例として報告を受けた日付	合同部会報告日	合同部会評価日
報告対象期間前	1	シングリックス		65	男性		20250512	202507	調査中	調査中	調査中	調査中	2025年9月24日	2025年10月24日 2026年2月4日 2026年4月22日 2026年7月24日	
報告対象期間前	2	シングリックス	ZS061	88	女性	うっ血性心不全 上腕骨骨折 不眠症 大腿骨骨折 心不全 心房細動 肺障害 腸管穿孔 腸血腫 膠原病 転倒 関節リウマチ	20250718	20250819	調査中	調査中	調査中	調査中	2025年10月7日	2026年2月4日 2026年4月22日 2026年7月24日	
報告対象期間前	3	シングリックス	ZS072	98	男性	低アルブミン血症 便秘 喘息 大動脈弁置換 大腿骨骨折 帯状疱疹 心不全 栄養障害 気管支炎 脂質異常症 認知症	20251101	20251111	不明	評価不能	γ	高齢で感冒症状後に死に至ったが、時間的な前後関係以外はワクチンの関与を積極的に示唆するものは無い。	2025年11月18日	2026年2月4日 2026年4月22日	2026年7月24日

報告対象期間前	4	シングリックス	ZS072	94	女性	冠動脈疾患 心障害 施設での生活	20251030	20251115	心機能障害 心筋梗塞 急性腎障害 腎機能障害	関連あり	γ	高齢で元々冠動脈障害の可能性、心筋梗塞と腎機能障害の主因がワクチンであるとは考えにくい。	2025年12月18日	2026年2月4日 2026年4月22日	2026年7月24日
報告対象期間内	5	ニューモバックスNP		67	女性	乳癌 子宮摘出 慢性C型肝炎 痛手術 脾摘 血小板減少症	2023	不明	侵襲性肺炎球菌感染症	関連あり	β	脾臓摘出後の患者が、ニューモバックスを接種したが、その後侵襲性肺炎球菌感染症（ワクチン含有血清型）で死亡した。ワクチンの効果が十分でなかった点はあるが、副反応とは言い難い。	2026年1月22日	2026年4月22日	2026年7月24日
報告対象期間内	6	ゴビーック プレベナー 20 ロタテック	5K12C LR0601 Y020294	4	女性	副耳 膽ヘルニア 関節障害	20251104	20251105	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年1月22日	2026年4月22日 2026年7月24日	
報告対象期間内	7	アレックスビー		103	女性	うっ血性心不全 ラクナ梗塞 認知症 誤嚥性肺炎 骨粗鬆症	20250328	20250606	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年2月10日	2026年4月22日 2026年7月24日	
報告対象期間内	8	アレックスビー			女性	化学療法 肺の悪性新生物		不明	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年2月25日	2026年4月22日 2026年7月24日	
報告対象期間内	9	ガーダシル シルガード		小児	女性			不明	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年3月16日	2026年4月22日 2026年7月24日	

報告対象期間内	10	シングリックス	ZS047	76	女性	出血性胃潰瘍 帯状疱疹 気胸 酸素療法 間質性肺疾患	20250423	20260301	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年3月23日	2026年7月24日	
報告対象期間内	11	シングリックス	ZS077 ZS094	80	女性	高血圧	20260116 20260318	20260319	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年3月30日	2026年7月24日	
報告対象期間後	12	シングリックス	ZS075 ZS081	71	女性	関節リウマチ	20251121 20260123	20260320	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年4月13日	2026年7月24日	
報告対象期間後	13	クイントバック プレベナー 2 0	B009C ME0558	3	女性		20260509	20260511	調査中	調査中	調査中	調査中	2026年5月18日	2026年7月24日	
報告対象期間前	14	インフルエンザH A ワクチン* デンカ	791-A	81	男性	一過性脳虚血発作 外科手術 慢性呼吸不全 抗好中球細胞質抗体陽性 深部静脈血栓症 結核 緑内障 肺塞栓症 胸膜肺実質線維硬性症 脳梗塞 良性前立腺肥大症 虫垂炎 酸素療法	20251028	20251031	肺線維症	評価不能	γ	倦怠感、嘔吐、炎症反応軽度上昇と、その後急な死亡に至る経過はワクチン接種後数日で起きたが、因果関係は不明である。	2025年11月5日	2026年4月22日	2026年7月24日

報告対象期間前	15	インフルエンザHAワクチン＊デンカ	789-B	91	女性	エヴァンズ症候群 副腎機能不全 心不全 腎機能障害	20251204	20251205	急性心不全	評価不能	γ	高齢で副腎機能低下、老衰に近い状態との記載あり、ワクチンが関与した可能性は高くない。	2025年12月5日	2026年4月22日	2026年7月24日
報告対象期間前	16	ビケンH A	HA243D	82	女性	脳挫傷 頭部損傷	20241114 20251107	20251108	嘔吐 急性呼吸不全 発熱	評価不能	γ	脳挫傷後遺症があり胃痙による経管栄養。誤嚥性肺炎の原因となった嘔吐にワクチンの関与が大きいとは考えにくい。初回と2回目とで、接種から嘔吐までの日数も異なる。	2025年12月12日	2026年4月22日	2026年7月24日
報告対象期間前	17	インフルエンザHAワクチン「KM B」	557B	101	女性	便秘 喘息 甲状腺機能低下症 脂質異常症 骨粗鬆症 高血圧	20251211	20251212	急性心不全	関連なし	γ	高齢で死亡前に腹痛を訴え体調不良があった。ワクチンの関与を積極的に示唆する徴候は乏しいと考える。	2025年12月26日	2026年4月22日	2026年7月24日
報告対象期間内	18	フルミスト	YB2822	7	女性	アトピー性皮膚炎	20251127	20251227	脳症	関連なし	γ	鼻咽喉頭ぬぐい液から複数種類のインフルエンザウイルスが検出され、A型野外株が脳症の原因であった可能性の方が高いと考えるが、B型ワクチン株の関与を完全に否定はできない。	2026年1月28日	2026年4月22日	2026年7月24日

※専門家の因果関係評価

α：「ワクチンと症状名との因果関係が否定できないもの」

原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となったことが否定できない症例。

β：「ワクチンと症状名との因果関係が認められないもの」

原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となつたとは認められない症例。

γ：「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できないもの」

情報が十分でない、使用目的又は方法が適正でない等のためワクチン接種と事象発現との因果関係の評価ができない症例。

(症例 No.20)

患者背景	年齢（月齢、週齢）	7 歳 11 か月
	性別	女性
	基礎疾患	なし
	既往歴	なし
	併用薬	アンブロキソール塩酸塩、チペピジン ヒベンズ酸塩、L-カルボシステイン、 レボセチリジン塩酸塩、クラリス ロマイシン
	アレルギー歴	なし
	副作用歴	なし
	家族歴	母：アトピー性皮膚炎
	報告以外のワクチン接種 歴	Hib:4回, PCV13:4回, HB:3回, DPT- IPV:4回, BCG:1回, MR:2回, VZV:2回, JE:3回, RV1:2回, Mumps:2回
	副反応歴	なし
	妊娠中及び出生時の異常 の有無	なし
	在胎週数	40 週
	出生体重	3128g
	発育及び発達の異常の有 無（健康診断受診歴の有 無、有の場合は指摘の有 無）	なし
接種	ワクチン名	フルミスト
	接種日（接種回数）	2025 年 11 月 27 日（1 回目）
	製造販売業者	第一三共株式会社
	ロット番号	YB2822
接種前後	接種前体温	36 度 5 分
	接種前後の異常（感冒症状 等）	軽度の咳、鼻水などがあった。
接種後から異状発見までの状況		2025 年 11 月 30 日 特に異常なし。2025 年 12 月 1 日朝 に 37.2℃の微熱があった。 11:30、頭痛、嘔吐が出現。

		17:00、頭痛、嘔吐が再燃し、21:30、ミオクローヌス様運動、ふるえるような動作が出現し、A 病院に救急搬送され経過観察のため入院となった。2025 年 12 月 2 日午前 3 時くらいに右眼球共同偏位や意識障害、けいれんなどが出現した。 (検査結果) A 病院にて、FilmArray 呼吸器パネルでインフルエンザ A と B が陽性。他陰性。
症状名		頭痛、嘔吐、振戦
異状発見	最終生存確認日時、その際の児の状態（睡眠中の場合は体位を含め）	—
	発見日時	2025 年 12 月 1 日
	発見時の状況（患者の状態、発見場所、発見者、体位、睡眠中の場合は添い寝の有無等）	—
死亡確認まで	救急要請の有無	有 入院中の A 病院で要請され B 病院に搬送された。
	救急要請日時	2025 年 12 月 2 日時間不明
	救急隊到着時刻	不明
	救急隊到着時の児の状態（外傷、出血、気道内異物の有無等）	外傷なし
	搬送手段	救急車
	搬送中の経過及び処置内容	特に変化なし
	病院到着時刻	2025 年 12 月 2 日 午前 6 時 33 分
	到着時の身体所見	挿管中、意識なし (GCS E1VTM1)
	B 病院へ搬送後から死亡確認までの経過及び治療内容（気管内挿管や胃内チュー	2025年12月2日 急性脳症（劇症脳浮腫型脳症）として ICUで挿管及び人工呼吸、てんかん薬

	ーブ挿入をされた場合は吸引物の有無、有の場合は性状、使用医薬品等)	投与、筋弛緩、血漿交換、ペラミビル水和物投与、セフォタキシムナトリウム投与を実施。 気管内吸引物の性状は記載なし 12月4日 11:00、脳波フラット。 いずれの治療にも反応はなく、脳幹反射の消失あり。 12月26日12:00、血圧低下があり、12月27日から徐脈となり、ICUの病室で下記時間に死亡確認。
	検査実施の有無（血液・生化学検査、感染症関連検査、画像検査等）	2025年12月2日 白血球数 16990 /uL、好中球数 88.8%、好酸球 0.0%、好塩基球 0.1%、リンパ球 6.5%、単球 4.6%、CRP 0.15 mg/dL。 血液培養は陰性。菌血症なし。 頭部CT：両側視床に左右対称性の低吸収域、脳浮腫 12月 血液検査：AST 33, ALT 16, LDH 341, CK 263, Na 141, Cl 105, K 4.2, Glu 174 12月4日 11:00 脳波所見：単極誘導、標準感度、Tc：0.3s、HF：50Hz。平坦脳波。 12月8日 インフルエンザウイルスゲノム解析実施。 試験・検査方法：RT-PCR法、シーケンス（次世代シーケンサー）（NGS） 解析に使用したインフルエンザウイルスのゲノム：全ゲノム 結果：鼻咽頭ぬぐい液：A（H3）とBが陽性、鼻咽頭からインフルエンザA

		株は市中流行中の株（H3 clade K）が検出され、インフルエンザB株はフルミスト株が検出された。 NGS：A（H3）はsubclade K、Bはフルミスト株。 気管内吸引物から特記すべき病原体は検出されなかった。 血漿中からはA、B共に検出されず。 ショットガンメタゲノム解析はインフルエンザ以外に有意な病原体は検出されなかった。 髄液検査および免疫学的検査の実施なし 12月14日 白血球数 19190 /uL、好中球数 89.0%、桿状核球：2.5%、分葉核球：86.5%、好酸球 0.0%、好塩基球 0.0%、リンパ球 5.5%、単球 4.5%、CRP 2.33 mg/dL。 12月26日 白血球数 15470 /uL、好中球数 88.7%、好酸球 2.8%、好塩基球 2.8%、リンパ球 5.5%、単球 2.9%、CRP 7.33 mg/dL。
	死亡確認日時	2025 年 12 月 27 日 午前 6 時 27 分
死後の検査など	死亡時画像診断の実施の有無	なし
	死亡時画像診断結果の詳細	—
	剖検の実施の有無	なし
	剖検結果の詳細または結果入手時期の目安	—
医師の意見	死因及び医師の死因に対する考察（判断根拠を含む）	インフルエンザによる急性脳症（急性劇症型脳浮腫）

	他要因（他の疾患等）の可能性の有無	なし
	ワクチンとの因果関係（下記より選択） 1. 関連有り 2. 関連無し 3. 評価不能	2. 関連無し
	ワクチン接種と死亡との因果関係に対する医師の考察（判断根拠を含む）	患児の鼻咽頭拭い液からインフルエンザ A (H3) と B が陽性で、B についてはフルミスト株と推測され、A (H3) については市中株 (subclade K) が検出された。フルミスト接種後 1-2 週間はワクチン株が鼻咽頭から検出されることは周知の事実であり、かつフルミストによる脳症の報告はないことからワクチン株による脳症発症の可能性は極めて低いことと考えられ、市中株の検出があるため、市中株によるインフルエンザ脳症の可能性が高いと考えられた。